

富山県 中央植物園だより



サトザクラ ‘センダイヤ’ *Prunus* ‘Sendaiya’ (バラ科)

江戸時代以前には桜といえば、ヤマザクラを指していました。センダイヤはヤマザクラの園芸品種で、高知県出身の植物学者牧野富太郎博士によって命名されました。高知の仙台屋という商家にあったことに由来しています。

第 24 回私の植物写真展 「花道」 撮影 / 松島 亨さん

Report イベント報告「植物園研究発表展・発表会」「第 50 回富山県蘭まつり大会」

Topic 植物園裏話「展示温室の模型たち ‘動物編’」

News 園内ニュース「マンドラゴラは実在した！」

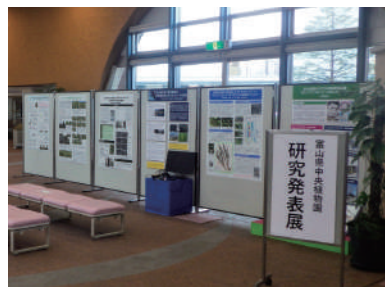
Events 今後の注目イベント「おかえり&はじめまして。英国から来たサクラたち」
「春のサボテン・多肉植物展」

Note 園内さんぽ「池にやってくる渡り鳥」

Report イベント報告

植物園研究発表展・発表会

1月14日（金）～2月23日（水）の間、当園職員が日頃行っている研究の成果をまとめたポスター展示を行いました。



研究発表展のポスター展示

今年度は富山県で新たに見つかったサクラの栽培品種‘コシノベニヤエ’と‘イカルギシロヤエ’や、外来植物や昆虫の発生報告、立山の植生変化のモニタリング結果、朝日町の漁港で新たに見つかったアマモの群落に関する報告など11題で、幅広い内容となりました。1月30日（日）には、口頭による研究発表会も行いました。研究活動は、植物園における植物の収集・栽培・展示や教育普及活動を支える重要な仕事です。これらの成果は年度末に「富山県中央植物園研究報告」としても発行され、ホームページからも閲覧することができます。



研究発表会を熱心に聴講する来園者

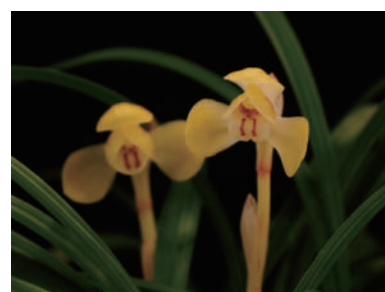
第50回富山県蘭まつり大会

3月4日（金）～6日（日）に富山県蘭まつり大会を開催しました。カトレヤやシンビジウム、シュンランなど346鉢が並び、会場はランの甘い香りに包まれました。また、今年は50回の記念大会で、植物園で開催された18大会分のポスターを一堂に集めた展示や富山県立中央農業高等学校のラン栽培に関する



愛好家自慢の鉢がずらり

展示、記念品がもらえるクイズラリーなど、盛りだくさんの内容となりました。中でも、特別展示「富山で生み出されたラン」では、香りのよい中国シュンランと花色が豊富な日本シュンランを交配して富山で作られ、香りがよく色も美しい品種が並びました。会期中はランの販売もあり、お気に入りの一鉢を求める人で賑わいました。



富山で生み出されたシュンラン‘富貴の香’

Topic 植物園裏話

展示温室の模型たち‘動物編’

2022年1月7日に、熱帯雨林植物室に体長1.2mのジャガーが出現しました。といっても、本物ではなくレプリカ（模型）ですのでご安心を。襲われる心配はありません。展示温室には8年ほど前から動物の模型作品を展示しはじめ、今では熱帯雨林植物室にジャガーとオオハシ、熱帯果樹室にはシロテテナガザル、雲南温室にはレッサーパンダがいます。いずれもちっぽけな温室なりに現地の“雰囲気と息遣い”を少しでも体感してもらうための仕掛けとして展示しています（模型は動かないですが…）。

動物模型作品は“実物と等身大でリアルに”というざっくりした依頼をもとに、すべてアーティスティックな才能あふれるアルバイトの宮脇さんが手作りしたものです。材料の60cm四方の工作用発泡スチロールにラフスケッチして、あとは宮脇さんの脳内立体完成図をもとにスチロールカッターやのこぎり、カッターナイフ、やすりなどを駆使していくつか

のパーツにわけて彫り出し、貼り合わせます。時には発泡スチロールの粉にまみれながらの大変な作業です。大作のジャガーの場合は8ヶ月ほどかかって原型を作り上げ、彩色は濡れても大丈夫なようにペンキなどを使って仕上げました。どの模型作品も業務の隙間時間で制作したとは思えないほど見事な出来栄で、思いがけず見つけた来園者の方々が「キャー」とか「ウー」と大声を上げて驚いています。

そのほかにも収集したワニやカバ、本物そっくりのハシビロコウも佇んでいるほか、まだまだ隠れたところに動かない生き物たちが潜んでいます。ぜひ探してみてください。

（志内 利明）



動物たちの生みの親、宮脇さんとジャガー

News 園内ニュース

マンドラゴラは実在した！

マンドラゴラはマンドレイクとも呼ばれるナス科の多年草で、地中海地域原産です。中世ヨーロッパでは錬金術や魔術の材料として珍重されました。また、太く枝分かれをした根がしばしば人の形に見えることから、様々な逸話も生まれました。中でも有名なのは、地面から引き抜く際に叫び声をあげ、それを聞いたものは死んでしまう、という伝説です。一方、花は白～紫色の星形で意外にも可愛らしく、ナス科の植物であることを納得させてくれる形をしています。

2年前に植物園間の種や苗の交換により入手したマンドラゴラが、今年初めて花を咲かせてくれました。鉢植えの展示

に加えて、特徴的な根も観察していただけるように、全草の液浸標本も展示しました。しばしばファンタジー作品などに登場するマンドラゴラが実在の植物であるということを知って、驚かれた方も多かったようです。

株が少々大きくなってきたので、今年は梅雨明けの休眠期に植え替えをします。10鉢以上あるので、伝説が本当なら担当者は何回死ななければならないのでしょうか？



果たして悲鳴は聞こえたのか…!?

Events 今後の注目イベント

おかえり&はじめまして。英国から来たサクラたち ～4月20日（水）

今年のサクラの企画展のテーマは、イギリスのオックスフォード大学植物園の協力により当園に導入された15種類のサクラ。この中には‘アサノ’（写真）のようにかつて日本で栽培されていたものの国内では絶えてしまった品種や、イギリスなど海外で育成された品種、イギリスで栽培されている



国内では絶えてしまった‘アサノ’

中国の野生種など、現在日本では見られない種類が多く含まれています。今回の展示では、これらの珍しいサクラやその導入の経緯についてご紹介します。

春のサボテン・多肉植物展 5月6日（金）～8日（日）

富山サボテン会がこれまで富山市の市民プラザで行っていた春の展示会が、昨年度から植物園へと場所を移して開催されており、累計63回目の開催となります。会員自慢の栽培株を中心に、会員



カラフルでとても可愛い花サボテン

同士が栽培の腕前を競い合った競作苗の展示や、春に開花する花サボテンを展示します。また、「育てる楽しみ展」と題し、種からサボテンを育てる様子や、接ぎ木などの栽培技術の紹介も行います。サボテンや多肉植物の即売も行いますので、お気に入りの一鉢を探しに来てみてはいかがでしょうか。

Note 園内さんぽ

池にやってくる渡り鳥

植物園の池は底がゴムシート張りの浅い人工池で、北池、南池、中池を合わせた面積はサッカー場4面分の広さになり、約12種類、3000羽のカモが訪れる県内有数の越冬地になっています。

最も多いマガモとコガモはそれぞれ1000羽以上、不思議なことにマガモは南池に集中しています。ほかにハシビロガモ、オナガガモ、オカヨシガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、クイナの仲間のオオバンは毎年見ることができます。ト

モエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オシドリ、ミコアイサなどは稀で1～数羽

しか入りません。過去にはメジロガモ、アカハシハジロ、オオホシハジロのような珍しい種類も記録されています。



パンダガモと呼ばれて人気のミコアイサ。
雄（右）と雌（左）、平成27年1月。

Event Schedule

※新型コロナウイルスの感染状況によって開催内容を変更する場合があります。
※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。

企画展

4/20 (水)	おかえり&はじめまして。英国から来たサクラたち。 会場：サンライトホール
4/22 (金) → 24 (日)	第40回ツツジ・シャクナゲ展 会場：サンライトホール
5/1 (日) → 3 (火・祝)	第43回春のラン展 会場：サンライトホール
5/6 (金) → 8 (日)	春のサボテン・多肉植物展 会場：サンライトホール
5/13 (金) → 15 (日)	第37回イワチドリ・山野草展 会場：ドリアスホール
5/13 (金) → 6/1 (水)	私の植物画展 会場：サンライトホール
6/3 (金) → 5 (日)	さつき・盆栽展 会場：サンライトホール
6/17 (金) → 19 (日)	第40回ウチョウラン展 会場：ドリアスホール

特別開園・コンサート

3月下旬～4月上旬の土・日を含む4日間	第11回さくらまつり 9:00～21:30 入園料：200円
5/9 (月)	県民ふるさとの日記念無料開園

講演会・講習会・観察会

4/23 (土)・24 (日)	栽培講習会「シャクナゲの栽培と管理」 会場：サンライトホール 14:00～15:30
5/3 (火・祝)	栽培講習会「ランの栽培と管理」 会場：ドリアスホール 10:30～12:00, 14:00～15:30
5/21 (土)・22 (日) 2日間連続	植物画講習会 会場：管理研修棟 研修室 10:00～16:00 ※要申込
5/28 (土)	植物写真教室「やさしい花の撮り方」 会場：管理研修棟 研修室、園内 13:00～16:00 ※要申込
5/29 (日)	公開講演会 「集まれ！富山の生き物調査隊（仮）」 会場：管理研修棟 研修室 13:00～16:00

月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園
第3日曜日：園長と歩く植物園
13:30～14:00 集合場所：サンライトホール

Information

入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00 (入園は16:30まで)
11月～1月 9:00～16:30 (入園は16:00まで)

[休園日] 毎週木曜日

4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始 (12月28日～1月4日)

[入園料] 大人500円 / 団体 (20名以上) 400円
冬期 (12月～2月) 一 大人300円 / 団体240円
年間パスポート (購入日より1年間有効) 2,100円
高校生以下・70歳以上は通年無料

[交通案内]

バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き (休日のみ)」に乗車し、「中央植物園口」下車、徒歩約15分

車：富山市中心部より約15分

北陸自動車道富山ICより約15分

JR 速星駅より約8分

友の会 会員募集

[特典]

- ①年間パスポート発行。
- ②会員限定行事に参加できます。
- ③「友の会会報」と「植物園だより」を年4回お届けします。
- ④開花情報やイベント情報を直接メールでお届けします。
- ⑤友の会が発行する印刷物やグッズを割引価格で購入できます。
- ⑥特別展に先立つ内覧会など、優待入園ができます。
- ⑦3つある部会の活動に参加できます。

[会費] ※有効期限は入会から翌年3月31日まで。

一般会員 /2,500円

シルバー会員 /1,500円 (4月1日時点で70歳以上の方)

ジュニア会員 /500円 (4月1日時点で高校生以下の方)

賛助会員 /20,000円 (一口)

[入会のお申込み]

入園口で直接、もしくは専用郵便振替用紙にて郵便局でお手続きください。詳しくはホームページをご覧ください。

富山県中央植物園だより No.103

令和4(2022)年3月25日発行

編集・発行／富山県中央植物園

(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtym.org/>



公式 Instagram